



勇気と愛は海を越える

第22回チエスボローカップ水泳駅伝

「勇気と愛は海を越える」をテーマに第22回チエスボローカップ水泳駅伝が8月7日、富田町マグラビーチで行われ、県内外から54チーム270人が参加しました。
この大会は、参加者全員の泳いだ距離を合計し、つがる市と姉妹都市米国メーン州バース市との直線距離1万2000メートルを泳ぎつなぐことを目標に毎年開催されています。



号砲とともに勢い良くスタートするジュニアの部



力強く泳ぐ選手たち



次の泳者へ気持ちをつなぐ



ハーフオープンの部でゴールする車力分屯基地の「チームタイゾウ」



お疲れ様！今年は選手に「絆・ケッパレ東北」バスタオルが贈られた

大会結果（上位3チーム）

クラス	第1位	タイム	第2位	タイム	第3位	タイム
ハーフオープン	CFST戦隊 encourager	33分04秒	脇坂組A	33分29秒	All Stars 2011	34分37秒
ジュニア	アカデミー五所川原 泳法神起	12分15秒	アカデミー五所川原 小男&少女時代	12分39秒	およげメロン	13分21秒
シニア	アカデミー Dandys 海猿	37分11秒 (大会新記録)	TDT水泳部	41分29秒	ハブスイマーズB	43分35秒
レディス	CFST戦隊 engager	42分20秒	あづまの黒豹	46分04秒	水泳塾	47分20秒
オープン	CFST戦隊 revenger	1時間 05分09秒	だてこう デルフィンズ	1時間 05分48秒	アカデミー五所川原 裕人引退レース	1時間 08分46秒



大きな声援を送る仲間たち



今年は東日本大震災の影響でバス市からの訪問団チームは不参加となりましたが、米陸軍車力通信所の職員が元気に泳ぎ、国際交流に貢献しました。参加者は真夏の日差しが照りつける中、観客の声援を受けながら力泳。今年の参加者の合計距離は144.5km、これで通算距離は4820.34km、目標まであと5379.66kmとなりました。



入賞チームにつがる市農産物が詰まった副賞が贈られる



ホットドック店でも日米交流に役買った車力通信所の皆さん



大会終了後「チェスボローカップ！」の掛け声で記念撮影。「また来年会いましょう！」

水難事故をなくそう 水泳駅伝を前に小学生がライフセービング体験

チェスボローカップ水泳駅伝の前日（8月6日）、市体育協会主催によるライフセービング体験がマグアビーチで開かれ、市内小学生26人が海に潜む危険と安全対策について学びました。

この日は、ライフセーバーの斎藤俊史さんを講師に海とプールの違いなどについて学習。その後、実際に救命胴衣やウェットスーツを着て海に入り、レスキューボードで泳ぐ体験などを通して「自分の命は自分で守る」ことの大切さを感じ取っていました。



斎藤さん（右）の話を真剣に聞く



子ども用レスキューボードで泳ぐ体験をする児童たち